

【資料 6】

日本原子力学会北海道支部 支部賞の選出について

功 勞 賞（令和 5 年度）

令和 5 年 4 月 3 日～5 月 12 日の期間に北海道支部会員から候補者推薦を募った結果、以下の 1 名の推薦があった。なお、受賞の可否については第 13 回定時支部大会にて決定する。

坂下 弘人氏（元北海道大学教授）

推薦理由

坂下弘人氏は、これまで長年にわたって、論文査読委員、大会プログラム編成委員、各種国際会議や専門委員会の委員、各種原子力人材育成事業の講師を務めるなど、本会活動および全国の原子力系の学生や社会人教育に大きな貢献があった。また、北海道支部の原子力オープンスクールや北海道支部を通じた様々な地域社会への原子力の啓蒙活動に携わるとともに、数多くの学術講演会の開催世話人を務めるなど、支部活動の活発化に極めて大きな貢献があった。さらに学部・大学院の各種講義・実験・演習を通じた高等教育に長年にわたって携わり、多くの後進を輩出した。現在の原子力分野における中堅～若手には候補者の熱意ある活動に多大な影響を受け羽ばたいていった者も多く、原子力系の企業や公的機関で大いに活躍している。これらを含めた数々の功績と長年にわたる日本原子力学会員としての活動実績から、日本原子力学会フェローにも認定されている。

奨 励 賞（令和 4 年度）

令和 5 年 2 月 17 日に開催された第 40 回研究発表会における審査の結果、優秀な研究発表を行った下記の若手研究者（2 名）に対して授与した。

Md. Mobasher Ahmed 氏（北海道大学 大学院工学研究院 客員研究員）

発表題目：Cesium-137 Migration Behavior in Hardened Cement Paste Altered by Leaching

紙谷 究 氏（北海道大学 大学院工学院 修士課程 2 年）

発表題目：重み付き CT の悪条件問題における再構成の評価